

お嬢様を菓漬けにしてみた  
W  
W  
W

W  
W  
W  
W  
W  
W  
W  
W

2014/6/25

Var. 1. 06

シナリオ… 柚坂みる

サークル名..ケチャップ味のマヨネーズ

## ■登場人物

良家の息女。処女。

立ち振る舞いは育ちの良さを反映してお淑やか。家柄を鼻にかけることもなく、基本的には誰にでも優しく接するタイプ。一方で、これまで女子校で過ごしてきた文字通りの温室育ちなので、世間の常識には少し疎い。勉強も運動も人並以上にこなし、身体は細身ですらつとしている。

優しい両親の元で育てられてきたが、不慮の事故で両親を亡くしてしまう。身寄りのない彼女は、生前に父親と親交の深かったとある富豪に引き取られることに。しかし実際は、富豪の息子が自由に遊べる『オモチャ』として彼女を求めていたため、そこにあてがうのが目的だった。彼女自身はそれを知らず、自分の身元を引き受けてくれたうえに学校にまで通わせてくれている富豪に対して大きな感謝をしている。

一方で、自分のことを不必要に見つめてくる富豪の息子に対してはあまり良い感情を持っていない。

そんな暮らしの中、深夜に富豪の息子に呼び出しを受ける。

〃SE 大理石の廊下を歩く音（コツ、コツ……）

「……………」

「この家に引き取られて、もう一ヶ月になるかしら……」

「あんな事故がなければ……お父様……お母様……」

「……ううん、いつまでも悲しんでいてはダメね。天国のお父様とお母様を心配させてしま  
うわ」

「それにしても、今日は何のご用かしら？ こんな夜更けに、地下室に來いだなんて……」

「この家のご長男、というけれど……私、あの人のことはあまり好きになれないわ」

「普段は大人しそうに振る舞っているけれど、私と話すときだけ妙ににやけた表情をするし  
……」

「それに、まるで私のことを狙っているみたいに見つめてくる、あの獣みたいな目……なん  
だか、ひとりで会っていくのは、少し……」

「……いいえ、そんなこと思ったらいけないわね。この先ずっとお世話になっていくのだから、  
せめて礼儀ぐらいはきちんとしないと……」

「……………」

〃SE 足音ここまで

「……ここね。はぁ……平常心、平常心……」

〃SE ノックの音（コンコン

「……失礼します」

〃SE ドアの開閉音（カチャ……バタン……

「こんばんは。私にご用とうかがったのですが、一体ご用件は何でしょうか？」

「……………」

「……えっ？ 『服を脱げ』……ですって？ えっと、それはどういうことで……」

〃少し戸惑う感じで

「……………」

「そ、そんな、急に『裸になれ』と言われても困ります！ そんなこと、できるわけありま  
せん！」

〃少し怒っている風に

「……………」

「……えっ？ そ、それは困ります！ この家に置いて頂けなくなったら、私は……」

「……………」

「……わかりました。その……服を脱ぐ間だけ、どうか目を閉じていて頂けると……」

「……………」

「……うう……で、でしたら、せめて背中を向けさせてください」



「んんっ！ あっ、はあんっ！ や、やめ、てえ……そ、そこっ、触っちゃあ……や、やあ  
あ……ふあああ……！」

「……………」

「……はあ……はあ……はあ……………」

「う、うう……体中が、ヌルヌル、して……気持ち、わるい……です……」

「……………」

「えっ……？ すぐに気持ちよくなる、ですって？ そ、それは一体、どういう……？」

「……………」

「……………ん、んんッ！？ え、なに、これ……塗られたところが、ジンジンして……あ、  
熱く、なってきた……？ うう、ふあああ……」

「あ、あの、これ、一体……？」

「……………」

「え……『媚薬入りローション』……？ 体が、感じやすく、なるクスリ、って……そ、そ  
んな……ッ」

〓 SE ローションを塗り広げる音（ヌチュウ、ヌチュウ……

「ひっ、ふあ、ああああ……！」

「な、なに……？ さっき、触られたときと、全然、ちがう……！」

「まるで、電気が流れた、みたいに……ビリビリって……」

「ふあああああッ！？ や、やめて、くださいっ！ そんなに、胸、触れたらっ……ひ  
うううッ！」

「はあ、はあ……な、なんなの、この、感じ……んっ、はあ……体の、中心が……どんどん、  
熱くなつて、きちやう……」

「んん、はああ……うっ、んうう……えっ？ あ、いやっ、そ、そこは……！」

〓 SE 股間を触る音（ヌチュルウ

「ひいああああッ……！ だ、だめっ、だめですっ！ そこ、感じ、過ぎてっ……はあ  
ん！ ああッ！ くふううううッ！」

「……………」

「はあ、はあ……き、気持ちいいか、ですって……？ そ、そんな……わかりま、せん……  
んんっ、あっ、あああッ……」

「う、ふう……はああ……も、もう、やめて、ください……んんっ！」

「か、体が、敏感に、なりすぎて……あッ……そんなに、触られると……へ、へんに、な  
って、しまいそうで……うう、んんうう……！」

「……………」

「ッ……はあ、はあ……はああ……」

「こ、これで……おわり、ですか……？ はあああ、よかった……」

〓 SE 服を脱ぐ音（スルスルッ……）

「きやあああッ!? な、なにをしているんですか!? そ、そんなモノを出さないでくだ  
さいっ!」

「『本番はこれから』って……ま、まさか、貴方っ!？」

「い、イヤッ！ 嫌ですっ！ わ、私は、結婚するまで、そういう、ことはっ……！」

「くうっ……は、離してくださいっ！　お願いしますっ！　それだけは……どうか、それだけは……ッ！」

「ひいっ……!!? い、いやあああッ! 誰かつ! 誰か助けてくださいっ! お父様っ! お母様あっ!」

「ひぐうツ！？ あぐつ、あああああ——ツ！！」

「あ、あああ……う、うそ……は、入って……んぐう……私の、中に……男の人が、入って、きてるうう……！ うぐうううツ……！」

「う、んああ……やああ……どんどん、奥まで、入ってくるう……んつ、くうう……あああ  
あああ……ッ！」

[.....]

「私のことを、ずっと狙っていた……？　そ、それじゃあ、初めからこうするつもりで……ッ！？」

「ひっ!? あつ、ぐうううッ! ま、待ってくださいっ! まだ、痛くてっ……ひい、んぐうううッ!」

「あつ、んん……はあ、くう、あぐつ……うつ、はあ、んつ……と、止め、てえ……中つ、擦れて……あつ、くううううつ！」

「す、すぐに、痛くなくなる、つて……そんな、わけが……シンッ！ ああつ、くふううあ  
あああッ……！」

「はあ、はあ……うつ、んくう……穢らわしい、モノが……何度も、奥まで、入って、きてるう……い、いやああ……んああああッ！」

「んふあ、ああ……な、なに……？ い、いま……なにか、体の、奥が、ビリビリつて……はあああんっ！」

[.....]

「う、くう……く、クスリの、効果……？　そん、なつ……こんな、無理矢理、されて、気持ちよく、なんかっ……あつ、ああああッ！」

SE 抽送音・激しく（グチュツ、ジユポツ）次のSEまで継続で

「はっ、はぁ…ま、待って、くださいっ……！ そんなに、激しくっ、動かれたら……！」  
わ、わたし、ヘンに、なって、しまい、ますっ……！」

「んふっ、うんっ、あつ、ううう……ア、アソコの、中が…メチャクチャに、かき、回されてっ……ひうっ、やつ……ああんっ！」

「……………」

「ふ、ああぁ……？ いっぱい、溢れてきた、って……ち、違いますっ……！ こ、これは、あなたの、クスリの、せいで……んああッ！」

「ああ、はああ、んん……お、奥、突きあげ、られると……あ、頭が、真っ白に、なっちゃうう……やああ、はあん！ あああぁ……！」

「……………」

「ふぁ……？ そろそろ、出すぞ、って……ま、まさか……！？」

「いやぁあッ！ ダメッ！ ダメですっ！ んんっ、な、中で、出したらっ……あ、赤ちゃん、出来ちゃいますっ！ それだけはっ……ひゃあんッ！ ひううううッ！」

「んっ、あつ、あぁッ！ はあん、んくっ、や、やめっ……はぁあんっ！ んんっ、お、お願い、です、からっ…はぁ、はぁ、中で、出すの、だけはっ……ひっ、んくうううッ！」

「あつ、ふぁあああッ！ ダ、ダメえ！ な、なにかっ、キちゃううッ！ んああああぁ——ッ！」

／SE 射精音（ビュルルル

「ひううううッ！ ああああッ！ ふぁああああぁ——ッ！！」

「あぁっ…はぁ、うう、んくう……あ、熱い……中で、熱いのが……ドクドク、出てるう……んふぁああ……はぁあああん……」

「う、ふうう……はぁ、はぁ……あはぁぁ……」

// S E 布団の上で倒れる音 (どさっ

「う、はああ……はあ、はあ……う、うう……どうして、こんな……ぐすつ……」

// 泣いている感じで

「……………」

「……これから、たっぷり遊んでやる、ですって……?」

「遊ぶって、こんな……こんなことを、繰り返すって仰るんですか……? う、うう……」

「こんなこと……叔父様に知られたらどうなるか、わかっていらっしやるんでしょうね……?」

「……………」

「えっ? 叔父様も承諾済みって……そ、それじゃあ、まさか私のことを引き取ってくださったのも、最初からそのつもりで……!?!」

// S E ペニスを引き抜く音 (ズルルッ……

「ふああああッ!? ああ……き、急に引き抜かないで、くださいっ……はああ……」

「……………」

「あ……ど、どこへ行かれるのですか? あのっ……」

// S E ドアの開閉音 (カチャ……バタン……

「……行ってしまった。ん、ううう……」

「ふう……はああ……まだ、クスリの影響が残ってるの、かしら……全身が、熱くて、ヘンな感じが、する……んんっ……」

「……ぐすつ。う、ううう……お父様、お母様……私、汚されて、しまいました……ううう……」

「んんっ……! はあ……中から、溢れて……こんなに、たくさん……あの人の汚いもの、出されて……ぐす、ひつく……」

「……それにしても、さっきのあの感じ……なんだったのかしら……」

「体の中心から、熱くてビリビリする感覚が全身に広がって……」

「それから、弾けるみたいになって、頭の中が真っ白になって……」

「……あの人の前では、言いたくなかったけど……すごく、気持ちよかった……」

「……ん、はああ……やだ……また、さっきのムズムズが……くううっ……と、特に、胸と……アソコが、熱くて……」

「な、なんだか、かゆく、なってるみたいで……うう、このままじゃ、ガマン、できないっ……」

「……す、少し、触るだけ、なら……ヘンなクスリの効果を、紛らわせる、だけ……だから……」

「ん、んんっ……ひっ!? ふあああああッ……!」



「……はあ、あああ……す、すごい……ちよっと触っただけ、なのに……おっぱいの中まで、痺れるみたいに、なって……」

「私の体……すごく、敏感になってるう……触る、だけで……気持ち、いい……」

「も、もう少し……もう少し、だけ……んんう……」

「んはああつ……！ あつ、はあん……やだ……すごく、気持ちいい……」

「こんな風に、自分のおっぱい、揉んだことなかったけど……あはあ……指の、感触が……んんうう……！」

「はああ……んふああ……はあ、ああ……や、やだ……私の、乳首……こんなに、硬くなってるう……んつ、ううう……」

「こ、これ、触ったら……どんな、感じが、するの、かしら……？ 少し、だけ……」

「ひいひいんんツ……！ な、なに、これ……すごいっ……あつ、ああああつ……はあああんツ！」

「はあ、はあ……こ、これも、クスリの、効果……なの、かしら……ああ、やだ、どんどん、硬くなつて……あつ、き、気持ちよく、なつてきちゃう……」

「あつ、ああつ……んやあ……はあんつ……うう、ふうんつ……あはあああ……」

「ふはあ、んふうう……おっぱい、触ってるの……すごく、気持ちいい、けど……」

「……でも、これじゃ、まだ……うう、物足りない……もつと、気持ちよく、なっちゃいたい……ああん……」

「うう、あああ……触つてると、気持ちいい、のに……はあ……ア、アソコが、どんどん、熱くなつて、きて……ふああ、堪ら、ない……」

「こ、こ……触ったら……も、もつと、気持ちよく……なれる、の……？」

「……う、ううう……こんなところ、触る、なんて……で、でも、もうっ……」

／＼ S E 濡れた性器に触れる音（ヌチュウ……）

「ふああああッ！ あああああんツ！」

「や、やだ、ここつ、す、すごいっ……んああ、おっぱい、なんかと、比べものに、ならない、くらい、敏感に、なってるう……！ ひやうううッ！」

／＼ S E 濡れた精液を擦る音（クチュ、クチュウ……） 次の S E まで継続

「うう、あつ……はあんつ、ああ、やつ、ああん……はあ、はあ……うっ、ふうんツ……！」

「はあ、はあ……ああ、き、気持ち、いいっ……んんつ……こ、さつき、男の、人の……入れられちゃった、場所……こ、擦ると……頭の、中まで、響いて、くるうう……！ はあああ……ッ」

「はあ、はあ……わ、私……自分で、自分の、性器に、触つて……はあ、こんな、いやらしいこと……したら、いけない、のに……」

「ううう……で、でも、気持ち、よくて……はあ、んんつ、ゆ、指が、止まらない……うううう、んふあああッ……！」

「ふう、ふうう……あ……こ、こ、クリトリス、だった、かしら……すごく、充血して……んんつ、触つて、いないのに……うう、ジンジン、するう……はあああ……」

「か、体中、こんなに、敏感に、なってる、のに……こ、こ、触っちゃったら……私、どう、なっちゃうの、かしら……」

「ああ、でも……触り、たい……んんっ、いっぱい、擦って……ムズムズ、するの……  
なんとか、したいっ……!!」

「ううっ……はあ、はああ……んっ、ふああああ……ん、んんっ……!!」

〓 SE クリトリスを擦る音（クチュウ……

「ひぐっ!? ああっ、ああああああ——ッ!!」

「あっ、ああっ……な、なに、これえっ! ほ、他の、ところと……全然、ちがううッ……  
……! ひいいいんッ! ひやううううッ!」

〓 SE 濡れた精液を擦る音・粘液多め（クチュ、又チュ…… 次のSEまで継続

「んんっ! あっ、ひやあんっ! んんっ、あふう……あっ、ああッ! んっ、くうん  
っ……!!」

「ふっ、ああああ……んっ、あっ、だ、ダメえ……ううん、ク、クリトリス、擦ると……あ、  
頭のなか、それだけで、いっぱい、なっちゃうんっ……!!」

「も、もう、クリトリス、擦る、ことしかっ……か、考え、られないっ……ああッ! や  
あんっ! き、気持ち、良すぎるううッ! あああああッ!」

「あっ、んんっ、ああ……こ、これ、さ、さっきの……す、すごい、の、また、きちやうっ……  
……!!」

「やだっ、ううんっ! こ、怖い……ううんっ、で、でも、指っ、もう、止まら……ないっ  
……!! はあんっ! やっ、あああッ! ひぐううううッ!」

「あっ、くるっ! 来るううッ! 頭のなかっ、真っ白になっちゃうのっ、きちやうのおお  
おおッ……!!」

「ふあああッ! ダメッ、も、もう、ダメええッ! イク、イクイクッ……イツ、ああああ  
ああああ——ッ!!」

〓 SE 停止

「んっ……あっ……ああっ……はあ、んああ……うっ、くう……ああ、ふうっ……んん  
っ……!!」

「……はっ……はあ、はああ……ああああ……」

〓 SE ベッドに倒れ込む音（ドサッ

「はああ……はああ……ふううう……すご、かったあ……はああああ……」

「体が、バラバラになっちゃいそうな……んん、でも……水の中に放り込まれたみたい……  
……そんな、感じ……」

「こんなの、今まで知らなかった……あはあ……なんだか、クセになっちゃいそうで……怖  
いわ……ううう……」

「んん……あ、えっ……? やだ、まだ、なんだか、体の中に、熱いのが、残ってるみたい  
……」

「……あの、人、まだ戻ってこない……わよね……? だったら、もう少し……だけ……」

〓 SE 濡れた精液を擦る音（クチュ、クチュウ……

「んああ……あっ、はあん……んんっ……ふあああ……」

「……………」

「んん……ああ、はああ……ふああああ………」

「はあ、はあ……もう、何回、しちゃったのかしら……」

「うう……何度イつても……ぜんぜん、体が収まってくれない……私の体、ヘンに、なつちやってるう……はああ……」

「んうう……こんなの、いくら続けたって……うう、もっと、奥まで……触れたら……」

／＼SE ドアの開閉音（ギイ……バタン

「あつ……！ あ、貴方（あなた）……！？ どうして、戻ってきて……？」

「……………」

「えっ……！？ ああつ……！ こ、これは、その……ち、違うんです！ 私、そんなイラシイこと……し、してませんっ……！」

「……………」

「その指についてるモノは何か、つて……そ、それは……」

「……………」

「そ、そんなワケありません！ 貴方のことなんて、待ってるはずないでしょう……！？」

「私に……あんな、酷いこと、して……うう、こんなヘンな薬まで……ぜ、絶対に、許しませんからねっ……！」

「……………」

「……えっ？ もう少し素直になる薬、つて……？」

「ひっ……！？ そ、それ……注射器！？ な、何をする気なんですかつ！？ イヤッ！ 止めてくださいっ……！」

「……………」

「お、大人しくしないと、針が折れるつて……そ、そんな……い、いやあ！ やだっ！ やめ、てえええ……！」

「いつ、痛っ……！ うっ、くうううッ……！ う、腕に、針が、刺さつてっ……んうううう……！」

「や、やああ……うう、んっ……か、体の、中に……なんだか分からないお薬が、入って、きてっ……ううう……」

「……うう、はあ、はあ……ううう……ぜ、全部、注射、されちゃったあ……くうう……い、いったい、何を注射したの、ですか……？」

「……………」

「すぐに分かる、つて……どういうことで……」

「……え？ あっ……あああつ！？ ふあっ、んんっ！ あああああッ……！？」

「な、なんですか、これっ！？ か、体が、さっきまでよりも、あ、熱く、なつてっ……ふああああンッ！」

「んん、ああ、ダメえ……体に、チカラ……入らな、い……ふあっ、んふううう……！」

「は、あああ……ふあああッ!? ああ……や、やだっ、そんな……で、出ちゃう……!?!  
イヤッ、だめ、だめえええ……ッ!」

〃SE 放尿音(チヨロチヨロチヨロ……)

「はああああ……! あ、ああ……ウソお……おしっこ、出ちゃうてるう……んんう……だ、  
だめえ……止まらないっ……くふうううう……!」

「……………」

「お、お漏らしなんてして、はしたない女だ……ですって……? うう……あ、貴方の、へ  
んな薬のせい、でしょ……!?! ふああ、んうううう……」

「はあ、はああ……な、なんなの、これえ……体が、ふわふわ、して……うう、自分の、体  
じゃない、みたい……はああン……」

「うう、ああああ……や、やあ……ア、アソコが、また、熱く、なつて……はあ、ンンッ……  
ジンジン、してるうう……んうう……」

〃SE 服を脱ぐ音(スルスルッ……)

「う、ああ……ま、また、その穢らわしいモノで……わ、私の、ことを……?」

「……………」

「そろそろコレが欲しくなってきただろう……ですって? わ、私が、そんなはしたないこ  
と……思う、わけが……」

「うう、あああ……で、でも……アソコが、疼いて……んんっ、くふうう……私の、ココ……  
欲しく、なっちゃってるのお……?」

「あああ、はあ、はあ……も、もう、何か……入れて、貰えないとお……へ、へんに、なっ  
ちやいそう……んああああ……」

「……………」

「えっ……? そ、それを、舐めたら……入れて、頂けるの、ですか……?」

「で、でも……そんな、穢らわしいものを、舐める、なんて……ううう、はああああ……」

「ああ、ああああ……わ、わかり、まし、た……んンッ……あなたの、オチンチン……舐め  
させて、いただき、ます……」

「……………」

「はあああ……さ、さつきは、すぐく、怖かったのに……んう……こうして、近くで見ると  
……なんだか、ヘンな、気分になつて、きちやう……あああ……」

「そ、それに、この臭い……すうう……はあああ……生臭くて、イヤな臭い、なのに……嗅  
いでると、ドキドキ、してくる……あはああ……」

「はあ、はああ……ふううう……はあむ、ちゅううう……!」

「んちゅう……んっ、ンむう、はあ……れるう、ンれるう……」

「んふああ……はああ……これが、男の人の、オチンチンの、味……んうう……」

「うう……苦くて、んん……少し、しよっぱくて……へ、ヘンな、味……ふううう……」

「で、でも……イヤな味じゃ、ない……むちゅうう……れる、れろお……」

「あむう、んじゅう……ちゅばっつ、くちゅう……んふっ、ちゅう、ぢゅぶうう……」

「んん、ちゅう、んぶっ……あああ……私、まだ男の人と、キスも、してないのに……男の  
人の、オチンチン、舐めちゃうてるう……んれえる、ちゅうう……」

「んうう……ふあああ……でも、この味……んう、クセに、なっちゃいそう……んぷつ、んむううう……」

／＼ここで啜えます

「んじゅう、んう、ンン……じゅぷつ、ぢゅぬぷう……むぢゆるうう、ぢゆるつ、じゆるるううう……！」

「んむつ、ぢゅむう……んふう、ちゅつ、ぢゅるう……んじゆるつ、むぢゅうう……！」

「んんっ……ぷはあ、はああ……あ、あの……これで、いい、ですか……？」

「はあ、はあ……オ、オチンチン、舐めていたら……ア、アソコが、とても……切なく、なつてきて、しまつて……はああ……」

「お、お願い、します……私の、中に……この、オチンチン……入れて、ください……！」  
「……………」

「う、うう……でも……もう、堪らないんです……！　お、お願いします……オチンチン、私に、ください……！」

／＼SE 挿入音（ズチュウウウ

「ふあああああッ！　あああッ！　んくうううッ……！」

「あ、ああ……入って……入ってくるっ……！　オチンチンが、私の中に、ズブズブきてるううう……！　ひううううッ！」

／＼SE 抽送音（ズチュ、ズチュ…… 次のSEまで継続

「んああッ！　はあん！　あつ、ああッ……！　す、すごい……ううんっ！　な、中で、擦れてっ……はああンッ！」

「うふう、くうんッ！　はあ、ああん……ゆ、指で、届かなかった、ところまでえ……ああ、オチンチン、入って、きてるうう……！　んくうううッ！」

「……………」

「ああああ……！　は、はい……ひとりで、慰めてたとき、より……ずっと、気持ちいい、ですっ……！」

「んう、はあんっ！　ああ、はううッ……あ、熱いのが、内側で、ゴリゴリっ、擦れてっ……す、すごい、感じちやうう……ああああッ！」

「うふう、あつ、ああッ……！　お、奥に、当たってっ……はああンッ！　そ、そこ、気持ちいいっ、ですう……！　ひうううッ！」

「……………」

「んうう、あつ、ああんっ……だ、だって、こんな、気持ちいいの……ひうン、ガ、ガンなんて……出来ない、ですう……！　んいいいっ！」

「あああ、ふああああ……んはああ……擦れるとおお、ぜんぶ、気持ちいい……！」

「んんっ、ひいん……き、きもち、よすぎて……おお、おかしく、なっちゃうう……！　はひゅううッ！　あんううッ！」

／＼SE 抽送音・早い（ズチュ！　ズチュ！　次のSEまで継続

「んああああッ！　はあ、ああんっ！　は、はげしっ……くふううッ！　あああッ！　すごいっ！　オ、オマンコ、しゅごいのおおッ！」

「んひいんッ！　ああ！　ああっ、はあんッ！　ああ……も、もつと、強くうう……！　お、奥まで、突いてええッ！　ひああああッ！」



|    |  |
|----|--|
| 4. | 薬漬けお嬢様をチンコ漬けにしてみたwww   |
|    | (非公開)  |
| 5. | 薬漬けお嬢様に客を取らせてみたwww   |
|    | (非公開)  |
| 6. | サークル挨拶音声   |
|    | <p>「サークル、ケチャップ味のマヨネーズ」</p> <p>「この度は本作品をご購入いただきありがとうございます」</p> <p>「本作品は音声作品です。イヤホンやヘッドホンなどを使用して」</p> <p>「椅子に座ったり、ベッドに横になるなどしてリラックスした状態でお聞き下さい」</p> <p>「音声に気をとられすぎて椅子やベッドから落ちたり」</p> <p>「物にぶつかるなどして怪我などしないようお気をつけ下さい」</p> <p>「また、イヤホンやヘッドホンの端子が抜けていることに気づかず」</p> <p>「スピーカーから大音量で本作品を再生した場合、あなたの人生に深刻な問題を発生させる恐れがありますのでくれぐれもご注意ください」</p> <p>「それでは、本編をお楽しみ下さい」</p> |
| 7. | 体験版ダウンロードの案内音声   |
|    | <p>「この度は体験版をダウンロードいただきありがとうございました」</p> <p>「体験版をご試聴いただき、気に入っていただきましたら」</p> <p>「製品版をご購入いただけるととてもうれしいです」</p> <p>「今後ともサークル、ケチャップ味のマヨネーズをよろしく願いたします」</p>  |